

令和6年度第1回町民ワークショップ

参加者アンケートの結果概要

アンケート回収率

参加者	17 人
アンケート用紙	13 枚
回収率	76.5%

1. あなたのお住いの地域を教えてください。
(大字・自治会名で記入をお願いします。)

居住地域	回答数	構成比	居住区域	回答数	構成比
市場	1	7.7%	旧 村	3	23.1%
大輪田	1	7.7%			
泉台	1	7.7%			
星和台	2	15.4%	ニ ュ ー タ ウ ン	10	76.9%
中山台	1	7.7%			
高塚台	1	7.7%			
高塚台2丁目	2	15.4%			
久美ヶ丘	2	15.4%			
緑ヶ丘	1	7.7%			
彩りの杜	1	7.7%			
未記入					
合計	13	100.0%			

2. ワークショップに参加しようと思った動機は何ですか。

設問内容		回答数	構成比
1	内容に興味があった	8	61.5%
2	どのようなものか参加してみた	3	23.1%
3	人に誘われた		
4	その他	2	15.4%
合計		13	100.0%

3. 本日のワークショップの全体の印象はいかがでしたか。

設問内容		回答数	構成比
1	良かった	5	38.5%
2	まあまあ	7	53.8%
3	やや不満	1	7.7%
4	不満		
5	その他		
合計		13	100.0%

4. グループ内での議論はいかがでしたか

設問内容		回答数	構成比
1	よくできた	8	61.5%
2	まあまあ	5	38.5%
3	あまりできなかった		
4	できなかった		
5	その他		
合計		13	100.0%

5. 参画と協働についてどう感じましたか。

設問内容		回答数	構成比
1	理解できた	6	46.2%
2	イメージが持てた	7	53.8%
3	理解しにくかった		
合計		13	100.0%

6. 本日のワークショップに参加された感想はいかがでしたか。（複数回答）

設問内容		回答数	構成比
1	「参画と協働」のイメージが持てた	3	20.0%
2	「まちづくり」が身近になった	5	33.3%
3	自分も機会があればまちづくりに参加してもいいと思うようになった	3	20.0%
4	河合町は町民のさまざまな活動で支えられていることがわかった	2	13.3%
5	その他	2	13.3%
合計		15	100.0%

7. 今後の参画と協働のまちづくりの取り組みについて、参加協力したいと思いますか。

設問内容		回答数	構成比
1	積極的に参加協力したい	6	46.2%
2	自分にできる範囲で参加協力したい	7	53.8%
3	あまり参加協力できない		
4	その他		
合計		13	100.0%

8. 今後、このような機会があれば参加を希望しますか。

設問内容		回答数	構成比
1	参加したい	10	76.9%
2	今後考える	1	7.7%
9	希望記載なしで連絡先記載済	2	15.4%
合計		13	100.0%

(いただいた意見等)

2. ワークショップに参加しようと思った動機は何ですか。

④その他（ ）

ご意見等	
1	1 回目のワークショップ時、参加を促していただいた。
2	民生委員事務局からの紹介で参加

3. 本日のワークショップの全体の印象はいかがでしたか。

⑤その他（ ）

ご意見等	
1	総花的であり、各層の温度差がある
2	1・2回目は？だったが、何よりグループの方々との話がゆっくりできた。

6. 本日のワークショップに参加された感想はいかがでしたか。

⑤その他（ ）

ご意見等	
1	もっと人を巻き込むために、どうすれば良いか勉強になった
2	本気で町側が町民とタイアップして河合町をよくしたいと思ってほしいと思った。

8. みんなで話し合いたいテーマや、自治基本条例の関係で知りたいこと、ご意見等ございましたらご自由にお書きください。

ご意見等	
1	今回のワークショップをはじめ、皆で話し合いの場を持つ前には、事前に話し合う内容を教えていただければ、事前に個々で熟考し、当日の論議がより活発・深化すると思います。 個人的には消化不良で申し訳ありませんでした。 今日もありがとうございました。
2	環境問題について 環境にやさしいまちづくりとして、ごみ減量として、早急にリサイクルバザーを行政の支援のもと、実施してほしいです。 ボランティアとしてお手伝いさせていただきます。
3	私たち（町民）はどこへ向かっているのかを明確にしてから話し合いたい。 シン河合町！ビジョンは？ イマジネーションなくしてクリエイションはないと聞いたことがあります。
4	◎自治基本条例はまちづくりの憲法なので必要だが、それについてあれこれ言うより、それを生かして具体化するのが大切！ 町民が集って話し合う機会を増やして ◎ボランティア祭のようなものを開催して、それぞれの活動をアピールして町民の参加を促すことも必要と思う！ 現在ボランティアの高齢化が進んで、消滅の危機になっている活動もあると聞く。 ◎まちづくり協議会を作って、町民の活動の連携を図ることが大切！ まちづくりステーション（まちづくり協議会本部）のような部屋を作り（空き室でもいい）住民が集まってそこで計画したり会合したりできるようにしてほしい（ホール、研修室などの使用については無料で提供） ◎町職員の仕事で町民に手伝ってほしいことがあればまちづくり協議会に図り協力を得ればよいと思う。 ホームページ作成や更新にパソコン教室のメンバーに頼むとか、文化ホールの運営の一部を町民に任せるとか、職員の仕事の合理化なども実現できると思う。（職員でしかできないことに専念） ◎子育て中の若い母親に働く場を与える（有償ボランティア）こともできる。
5	グループ内での議論で、商工会事業と参画し合える、打ち合わせまで進んだ。（前回に続いてグループが同じメンバーだったので話が進んだ。）